

コンクリート／アブストラクション　柴田敏雄—写真と抽象

Concrete / Abstraction: Toshio Shibata — Abstraction in Photography

柴田敏雄（1949－）は東京藝術大学、同大学大学院で油彩画と版画を学んだのち、ベルギーのゲント市王立アカデミーに留学します。留学をきっかけに写真による制作を開始した柴田は、帰国後の 1980 年代後半以降、ダムや擁壁といった構造物が作り出す人工的な景観を重厚なモノクローム写真に定着させます。1992 年に展覧会「日本典型」などによって第 17 回木村伊兵衛写真賞を受賞。大型カメラの持つ精緻な描写力と厳密な画面構成によって生み出された作品は、人工物と自然が共存する景観を緻密に捉えつつ、抽象的な造形美を描出し、国際的に高く評価されています。2007 年以降はカラー写真へと表現の軸を移し、さらなる展開がなされています。

代表作「日本典型」をはじめ、その作品群には東北の風景を捉えたものも数多く含まれますが、柴田は幼少期の一時期を福島県の会津で過ごしたことがありました。ゆかりのある地域においてはじめて開催する大規模な展覧会は、大きな意味を持つでしょう。

国内美術館 19 年ぶりの個展となる本展覧会では、初期から現在に至るまでの作品を精選し、約 50 年のキャリアに及ぶ作家の軌跡をたどります。

柴田敏雄（Toshio Shibata）

1949 年東京生まれ。東京藝術大学大学院油画専攻修了後、ベルギーのゲント市王立アカデミー写真科に入り、写真を本格的に始める。日本各地のダムやコンクリート擁壁などの構造物のある風景を大型カメラで撮影、精緻なモノクロプリントで発表、2000 年代よりカラーの作品にも取り組み始め、その表現の領域を広げる。国内外多数の美術館に作品が収蔵されている。

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

本展覧会の見どころ

・国内の美術館では 19 年ぶりの大規模個展
国内美術館では 19 年ぶりの大規模個展となる本展覧会では、柴田敏雄の初期から新作まで、モノクロ作品、カラー作品など一挙に公開し、創作の軌跡を展観します。

・地域性を考慮した展示
幼年期に会津に住んでいたことのある柴田。福島にゆかりのある作家が撮影した福島をはじめ東北の作品が多数展示され、地域性を考慮した意義のある展覧会です。

・貴重な初期作品を公開
ベルギー留学時代に撮影したヨーロッパの風景写真、銅版画の質感や技法を思わせる静物の写真は、これまで広く紹介されることのなかった貴重な初期作品であり、作家の表現の展開を考えるうえで大変重要です。これらの作品を特別に多数展示します。

・充実した図録
作品図版に加えて、作家へのインタビュー、多角的な視点からの論考などを掲載した大変充実した図録です。

・クロストークほか多彩なイベント
柴田敏雄をはじめ、さまざまなゲストを迎えたクロストークほか、ギャラリーツアー、学芸員によるギャラリートークを開催します。

展覧会概要

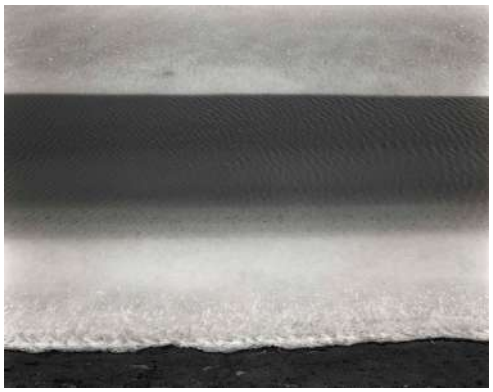
展覧会名　コンクリート／アブストラクション　柴田敏雄　―写真と抽象
会　　期　2027 年 1 月 31 日(日)～3 月 22 日(月・祝)
時　　間　9 時 30 分～17 時 00 分（展示室への入場は 16 時 30 分まで）
休 館 日　毎週月曜日（ただし 3 月 22 日は開館）
会　　場　郡山市立美術館（〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130－2）
観 覧 料　一般　1000（800）円　　高大生・65 歳以上　700（560）円
　　＊（）内は 20 名以上の団体料金　＊企画展観覧料で常設展もご覧いただけます
　　＊中学生以下の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料
主　　催　郡山市立美術館
協　　賛　株式会社シグマ、東京綜合写真専門学校
特別協力　川崎市市民ミュージアム、POETIC SCAPE
協　　力　株式会社アマナ、株式会社写真弘社、株式会社ユーホウ、鎌倉画廊、
　　ギャラリー・アートアンリミテッド、ツァイト・フォト、
　　有限会社イマジン・アートプランニグ、Yoshiaki Inoue Gallery

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

本展覧会の構成

第１セクション「Black & White」

柴田はベルギー留学中に大型カメラ（4x5 インチ判）を購入し、本格的な写真活動に踏み出す。帰国後は夜の風景を撮ることから始めて独自の表現を模索しつつ、日中にも被写体を求めていく。偶然出会った道路脇のコンクリートの塊を撮影したことをきっかけに、ダムや擁壁、橋といったインフラストラクチャーのある風景をフィルムに収めるようになった。1988 年にはさらに大きな 8x10 インチ判カメラを手に入れ、細部まで克明に捉えた表現を追求する。本セクションでは、「日本典型」をはじめモノクロの代表的な作品とともに、これまで展示する機会が限られていた初期作品―ベルギー留学時代の作品、メゾチント技法の影響がうかがえる静物作品など―を展示。絵画から写真へと転じた柴田の創作がどのように深化し、展開されたのかを考察する。



《ゲント、ベルギー》1979 年
ゼラチン・シルバー・プリント　作家蔵



《福島県相馬郡鹿島町》1990 年
ゼラチン・シルバー・プリント
東京都写真美術館蔵

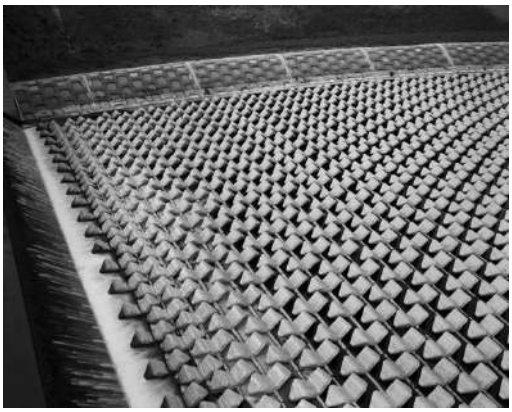
第２セクション「Form / Geometry」

柴田は初期の制作から、形態や幾何学、画面構成の単純化を強く意識していた。画面上に強固な骨格や構造を持たせることを念頭に置き、中立的な視点で対象を捉えるように心がけ撮影に臨むという、独自の方法で眼前の風景から画面を切り出す。それによって三角形や四角形といった幾何学的なかたちが立ち現れる。また、柴田の写真においては、空や地平線がほとんど写されていない。大型カメラで絞り込むことによるパンフォーカスと相まって遠近感や現実感が消し去られ、結果として画面に絵画的な平面性と独特な抽象性をもたらす。これらの特徴はモノクロ、カラーの双方に共通し、一貫した柴田の制作のアプローチやその根底にある美の資質をうかがわせる。本セクションではそれらの要素が際立つ作品群を紹介し、第１セクションと第３セクションをつなぐ架け橋とする。

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp



《高知県土佐郡大川村》2007 年
発色現像方式印画　東京都写真美術館蔵



《北海道上川郡トムラウシ》1988 年
ゼラチン・シルバー・プリント
川崎市市民ミュージアム蔵

第 3 セクション「Color」

モノクロ写真において独自のスタイルを定着させた柴田であったが、2000 年代に入りカラーも平行して撮影するようになる。試行錯誤を経て、2007 年にはカラーへ移行した。カラー写真においては、色面による奥行の表現とともに、色彩の戯れとその効果が追及され、画面における絵画的な表現がより豊かさを増していく。様々なエレメントが色を得ることでその存在を主張し、伸びやかな雰囲気も感じられる。モノクロでは季節感や時間帯を排除し、「現実感からできるだけ離れようとしていた」柴田だが、カラーではその現実性を受け入れるようになる。再び 4 x 5 インチ判カメラを手にし、物理的な身軽さと自由を得て、モノクロでは選ばなかったであろう風景をもネガに定着させていく。本セクションでは、ベルギーの構造エンジニアで建築家ローラン・ネイがデザインした橋や構造物を撮影したコミッション・ワークとともに、自然や物質の循環や有機的なものへの関心を深める近年の作品も併せて紹介する。



《栃木県日光市》2013 年
発色現像方式印画
石橋財団アーティゾン美術館蔵



《福島県河沼郡柳津町》2010 年
発色現像方式印画
作家蔵

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

関連イベント

クロストーク

会場：多目的スタジオ　申込不要、入場無料
① 2027 年 2 月 20 日（土）14：00〜15：30
登壇：柴田敏雄（写真家）、村越としや（写真家）
モデレーター：柿島貴志（POETIC SCAPE 代表・ディレクター）

② 2027 年 3 月 6 日（土）14：00〜15：30
登壇：柴田敏雄（写真家）、伊奈英次（写真家、東京綜合写真専門学校校長）
モデレーター：上野修（写真評論家）

ギャラリーツアー

申込不要、要企画展観覧券
2027 年 1 月 31 日（日）14：00〜
講師：柴田敏雄（写真家）、当館学芸員
会場：企画展示室

ギャラリートーク

申込不要、要企画展観覧券
2027 年 2 月 28 日（日）、3 月 14 日（日）各日 14：00〜
講師：当館学芸員
会場：企画展示室

[交通案内]
バス：JR 郡山駅前 5 番のりば「美術館経由東部ニュータウン行」
または「斎藤経由三春行」「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車：磐越道「郡山東 I.C.」より約 20 分　駐車場 130 台

最新情報は美術館ホームページでご確認ください。

郡山市立美術館
https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/

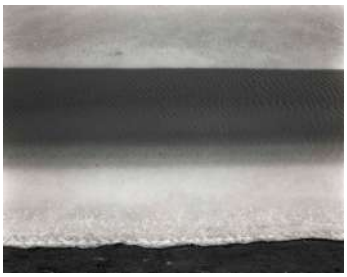
【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

広報用画像

画像の使用をご希望の場合は、E-mail にてお問い合わせください。
E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

【広報用画像貸出の注意事項】

・使用目的は本展のご紹介のみに限ります。
・使用後、画像データは速やかに破棄してください。画像データの保存および第三者への提供は禁止します。
・トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更、二次使用は禁止します。
・掲載する際は、各画像のキャプションを必ず記載してください（下記参照）。
・掲載紙は、学芸課担当者宛に１部ご送付をお願いします。



《ゲント、ベルギー》1979 年
ゼラチン・シルバー・プリント　作家蔵



《福島県相馬郡飯島町》1990 年
ゼラチン・シルバー・プリント　東京都写真美術館蔵



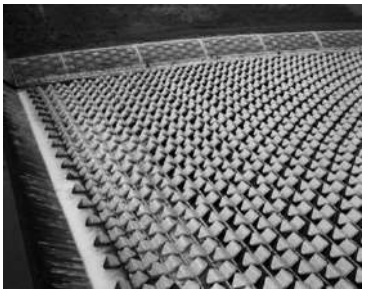
《神奈川県横浜市　根岸》1982 年
ゼラチン・シルバー・プリント　東京都写真美術館蔵



《グランドクーリー・ダム、ワシントン州ダグラス郡》
1996 年　ゼラチン・シルバー・プリント　作家蔵



《高知県土佐郡大川村》2007 年
発色現像方式印画　東京都写真美術館蔵



《北海道上川郡トムラウシ》1988 年
ゼラチン・シルバー・プリント　川崎市市民ミュージアム蔵



《栃木県日光市》2013 年
発色現像方式印画　石橋財団アーティゾン美術館蔵



《福島県河沼郡柳津町》2010 年
発色現像方式印画　作家蔵



《秋田県鹿角市》2022 年
発色現像方式印画　作家蔵

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：鈴木伸子、塚本敬介
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp